

平成27年 年末訓示

平成27年の仕事納めにあたり、一言申し上げたいと思います。

この一年間、職員の皆さん、大変ご苦労様でございました。

今年は、戦後70年や村発足60年など、いろいろと節目を迎えた年でありました。国会では、安全保障関連法案が成立し、日本の安全保障政策が大きく転換されました。さらには、TPP交渉が大筋で合意し、巨大な経済圏が誕生しました。ますますグローバル化が進む中で、世界における日本の状況を常に意識していくことが必要となっています。

年の瀬を迎え、今年一年の出来事を振り返った記事を目にするのも多いかと思いますが、今年もいろいろな事件・事故等が起きました。特に、川崎市や寝屋川市で発生した中学生殺害事件は、大変衝撃的で悲しいものでした。自然災害の面では、常総市での鬼怒川決壊による水害は大きな被害となりました。今なお、不自由な生活を余儀なくされている方々の一日も早い復旧・復興を願うものであります。昨年も申し上げましたが、本村においても、自然災害への警戒は一層強くしていかなければならないと感じております。

役場の仕事を振り返ってみますと、今年は大きな計画策定が3件ありました。

一つ目は、「まち・ひと・しごと創生」に基づく「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定です。人口減少社会を迎え、本村が将来にわたって活力あるまちづくりを実現するために、主に若い世代を対象とした戦略をまとめたところでありますが、今後は成果を求められますので、全庁的に取り組んでまいりたいと考えております。

二つ目は、「第5次総合計画」の「後期基本計画」の策定です。前期基本計画の評価分析を踏まえ、施策の方向性を明確にした分かりやすい基本計画が出来ました。今後は、毎年度の実施計画が大切となってまいりますので、各課とも計画の着実な推進に向け、一層の努力をお願いします。

三つ目は、「農業振興計画」の策定です。現在の農業行政には、様々な課題があり、すぐに解決できるものではありませんが、施策を体系化し、東海村の農業が目指すモデルを明確に定めることが出来ました。来年は、初年度となりますので、特に力を入れて取り組んでまいりたいと考えております。

これら以外にも、各課においては、個別計画の改定等が行われていると思いますが、計画は実行段階が大変重要となりますので、「何をしたか、何が出来たか」という意識を忘れずに頑張ってくださいと思います。

東日本大震災からの復旧・復興という点では、南台団地活動崩落緊急対策事業も年度末には完成する見込みであり、間もなく5年を迎えようとしている中、ようやく一区切り出来たのではないかと考えています。関係職員の努力を労いたいと思います。

また、中丸小の校舎改築が年度末までには完成する見込みとなりました。外構工事等は来年度まで継続されますが、子供達の学習環境を整えることが出来ました。ここ数年、学校等の整備が続く、関係職員も大変な苦労があったかと思いますが、子供達に喜んでもらえる仕事であり、やりがいはあったのではないかと感じています。大変ご苦労様でした。

一方で、(仮称)歴史と未来の交流館建設事業については、非常に厳しい一年でありました。議会や住民の合意形成を図っていくためには、これまで以上に丁寧な説明責任が求められているものと感じております。しかしながら、行政としての事業推進に向けた意思表示もしっかりと示しながら、体制を強化して取り組んでまいりたいと考えているところです。

今年は、村発足60年記念として、いくつかの冠事業が行われました。住民提案事業も数多く展開され、60年の歩みを振り返るとともに、今後のまちづくりにおいても新しい芽が出てきたのではないかと嬉しく思っているところです。私たちの仕事は、この村の将来を形作っているのだという自覚と誇りを持って、来年以降も頑張ったいと思います。

役場内の業務では、特に、「子育て支援」や「健康づくり」を重点施策として掲げ、組織再編も行いながら取り組んでまいりました。関係職員にとっては業務量も増え、大きな負担であったと思いますが、見直し等を含め着実に成果を上げていただきました。改めて、ご苦労様でしたと申し上げたいと思います。私は、年度当初に「村長ミッション」として、皆さんに課題を提示し、取り組んでいただきましたが、職員数も限られている中で、なかなか成果が出ないものもあったかと思いますが、私自身、皆さんともっと議論する時間が必要であったと認識しておりますので、今後とも意思疎通を図りながら、一緒に頑張ったいと思います。特に、管理職の皆さんには、組織のマネジメントを含め、その指導力に期待しているところでもあります。

その他にも、「原子力災害における広域避難計画の策定」「新たな地域自治のあり方に向けた取組」「マイナンバー制度への対応」など、一つひとつお話することは出来ませんが、全ての職員の方々が、それぞれの職場でしっかりと仕事をしていただいたと感じております。

今年の年末年始は6日間ですが、緊急的な事態への対応や連絡網などを今一度確認して、休暇に入っていただきたいと考えております。年末年始の休暇は、皆さん自身が、リフレッシュいただくことが大事ですが、家族との団欒も是非大切にして、有意義に使っていただければと思います。

結びに、今年一年の皆さんの働きに改めて感謝申し上げますとともに、年明け4日には、皆さんが元気に顔を揃えていただけるよう祈念しております。

以上を持ちまして、年末の訓示といたします。

皆さん、良い年をお迎えください。